

ディスコグラフィー掲載

ディスコグラフィー 【2024No.194】 (HP 掲載)

分類：CD

作曲家：ベートーヴェン

曲名：弦楽四重奏曲

演奏：ベルチャ弦楽四重奏団

発売：アルファクラシックス

No. : ALPHA469

概要：

[ベルチャ弦楽四重奏団の演奏会](#)で求めてきたベートーヴェンの弦楽四重奏曲全集 8 枚組 CD で、2 枚ずつ聴いていきます。

【演奏】 ベルチャ弦楽四重奏団

【収録】

[CD1]

1-5. 弦楽四重奏曲 第 6 番 変ロ長調 Op.18-6

6-9. 弦楽四重奏曲 第 12 番 変ホ長調 Op.127

[CD2]

1-4. 弦楽四重奏曲 第 2 番 ト長調 Op.18-2

5-8. 弦楽四重奏曲 第 9 番 ハ長調 Op.59-3 「ラズモフスキー3 番」

【録音】 2011-2012 年

オールドバラ、スネイプ・モルティンクス、ブリテン・スタジオ

【解説】

ベルチャ・カルテットの名を広めた鮮烈録音、お手頃価格で再登場!

来日公演も大成功を収めているベルチャ四重奏団。彼らがメジャーレーベルから移籍後、初の録音となったベートーヴェンの弦楽四重奏曲全集は、上下巻分売で発売されて間もない頃から絶賛され大きな話題となりました(『レコード芸術』誌特選)。「ベートーヴェンの作風の変転」を感じることを意図して録音されており、極めて高い集中力と強い熱意が感じられる名演に仕上がっています。Zig-Zag Territoires レーベルからの移行盤の再発売。21 世紀の新たなスタンダードと呼ぶにふさわしい、丹念な解釈にもかかわらず絶妙にスリリングな迫真の 16 曲+大フーガをじっくり味わえます。

ナクソス・ジャパン

来日公演も大成功を収めているベルチャ四重奏団。彼らがメジャーレーベルから移籍後、初の録音となったベートーヴェンの弦楽四重奏曲全集は、上下巻分売で発売されて間もない頃から絶賛され大きな話題となりました(『レコード芸術』誌特選)。<ベ

ベートーヴェンの作風の変転を感じることが意図して録音されており、極めて高い集中力と強い熱意が感じられる名演に仕上がっています。Zig-Zag Territoires レーベルからの移行盤の再発売。21世紀の新たなスタンダードと呼ぶにふさわしい、丹念な解釈にもかかわらず絶妙にスリリングな迫真の16曲+大フーガをじっくり味わえます。(C)RS JMD (2019/07/26)



ベルチャ四重奏団のメンバーと使用楽器は次のとおりです。

コリーナ・ベルチャ(第1 ヴァイオリン) Giovanni Battista Guadagnini 1975

アクセル・シャハー(第2 ヴァイオリン) Nicolas Lupot 1824

クシシュトフ・ホジェルスキー(ヴィオラ) Nicolas Amati 1670

アントワーヌ・レデルラン(チェロ) Matteo Goftrillier 1722

演奏会では、第2 ヴァイオリンの奏者が変わっていました。

カン・スヨン(第2 ヴァイオリン)

ベートーヴェンの弦楽四重奏曲全曲は、ZANDEN Model 120 導入後の音質評価として ZANDEN Model 120 の展開シリーズで、ベートーヴェン全集のアナログ盤で聴いています。曲の表情はそれぞれの対応するアナログ盤の報告を参照してもらえれば結構です。

弦楽四重奏曲 第6番→[ZANDEN Model 120 の展開\(12\)](#)

弦楽四重奏曲 第12番→[ZANDEN Model 120 の展開\(13\)](#)

弦楽四重奏曲 第2番→[ZANDEN Model 120 の展開\(11\)](#)

弦楽四重奏曲 第9番→[ZANDEN Model 120 の展開\(13\)](#)

弦楽四重奏曲 第6番の出だしを聴いたとたん、演奏会の雰囲気を感じ取ることができました。

ベルチャ弦楽四重奏団の演奏は、曲により、また楽章により、変幻自在に表現を替え、よく歌わせたり、緊張感ある厳しい演奏をしたりします。ZANDEN Model 120 の展開シリーズのアマデウス弦楽四重奏団とは違って、現代的な演奏になっています。第9番はお馴染みのラズモフスキーの3番ですが、これも緊張感あふれる演奏です。

以上